

令和 7 年度農林水産総合センター「夏の体験教室」の開催状況について

農林水産総合センターでは、農林水産業への関心と理解を深めてもらうとともに、農林水産総合センターの業務を広く県民に紹介するため、児童や生徒等が農林水産物に関する実験や観察を行う「夏の体験教室」を開催しました。

7月22日（火）から9月4日（木）にかけて、県内5つの研究所や農業大学校で7つのテーマの体験教室を開催し、46組105人の児童や生徒、保護者の方に参加いただきました。

○チリメンモンスターを探せ！（主催：水産研究所）

日時：令和7年8月1日（金） 参加者 10組 27人

場所：瀬戸内市牛窓町鹿忍（水産研究所）

内容：選別前のチリメンを使いフグやイカなどの稚魚を探す。



【施設見学(おさかな学習室)】



【チリメンモンスター探しに挑戦中】

参加者からは

- ・ モンスターを探すのが楽しかった。
 - ・ さかなのことが大好きになった。また来たい。
 - ・ 施設の見学、特に大きな水槽が勉強になった。
 - ・ 大人も楽しめるイベントでとても充実した時間になった。
- などの感想をいただきました。

○見て！さわって！野菜や花ができるまで！（主催：農業研究所）

日時：令和7年8月5日（火） 参加者8組23人

場所：赤磐市神田沖（農林水産総合センター）

内容：野菜や花ができる仕組みについて紹介、ミニトマトやナスの収穫体験



【野菜や花が育つ仕組みを説明する様子】



【収穫体験の様子】



【試食会の様子】

参加者からは

- ・トマト嫌いでも、食べられるくらいおいしかった。
 - ・次年度も体験教室に参加したい。明日も来たい。
- などの感想をいただきました。

○遺伝子にふれてみよう！（主催：生物科学研究所）

日時：令和7年8月6日（火） 参加者5人

場所：吉備中央町吉川（生物科学研究所）

内容：PCRを使った植物のDNAの分析体験や生物科学研究所の施設見学



【専門研究員と遺伝子について学習】



【研究施設の見学】

参加者からは

- ・授業で習った言葉での説明があり、分からないところもしっかりと教えてもらい、とても良い学びとなった。
- ・実験器具も、ピペットマンや遠心分離機など普段見ないようなものが多く、とてもわくわくした。
- ・研究員との食事会では聞きたいことを深く聞いた。
などの感想をいただきました。

○森の恵みを体験してみよう！（主催：森林研究所（林業研究室））

日時：令和7年8月7日（木） 参加者3組9人

場所：勝央町植月中（森林研究所）

内容：葉っぱを使ったスタンプやアクセサリーを作成する。



【樹木の葉でスタンプを作成する様子】



【レジンアクセサリーを作成する様子】



【教室で作成したアクセサリーとバッグ】

参加者からは

- ・押し花や種子等、音や形を比べながら植物に親しめ、葉の形の違いを学びながら楽しくできた
- ・勝央町産の材料が用意されており、娘も興味をもって取り組んだ。親子で本当に良い時間を過ごせた。などの感想をいただきました。

○木の良さを体験してみよう！（主催：森林研究所（木材加工研究室））

日時：令和7年8月8日（金） 参加者5組11人

場所：真庭市勝山（森林研究所（木材加工研究室））

内容：森林や木の話、ヒノキを使った木工体験や研究施設の見学。



【木材について学習する状況】



【施設見学の状況】



【木工体験の様子】

参加者からは

- ・鳥の巣箱型の貯金箱づくりが楽しかった。
 - ・割りばしの樹種など、種類によっていろいろと違うとは思わなかった。
 - ・柱材の強度試験で、木が割れるのが楽しかった。
- などの感想をいただきました。

○卵の殻を使って工作をしよう！（主催：畜産研究所）

日時：令和7年8月9日（土）

参加者 11組 18人

場所：美咲町北（畜産研究所（まきばの館））

内容：卵の殻を再利用して自分だけのフォトフレームを作る。



【フォトフレームの作成状況】



【完成したフォトフレーム】

参加者からは

- ・ 今回のフォトフレーム工作を夏休みの宿題として持っていきたい。
 - ・ 鶏卵や鶏肉がどのような過程を踏み、食卓まで届くかがわかった。
- また、卵を生む鶏にもいろいろな種類があることがわかった。
- などの感想をいただきました。